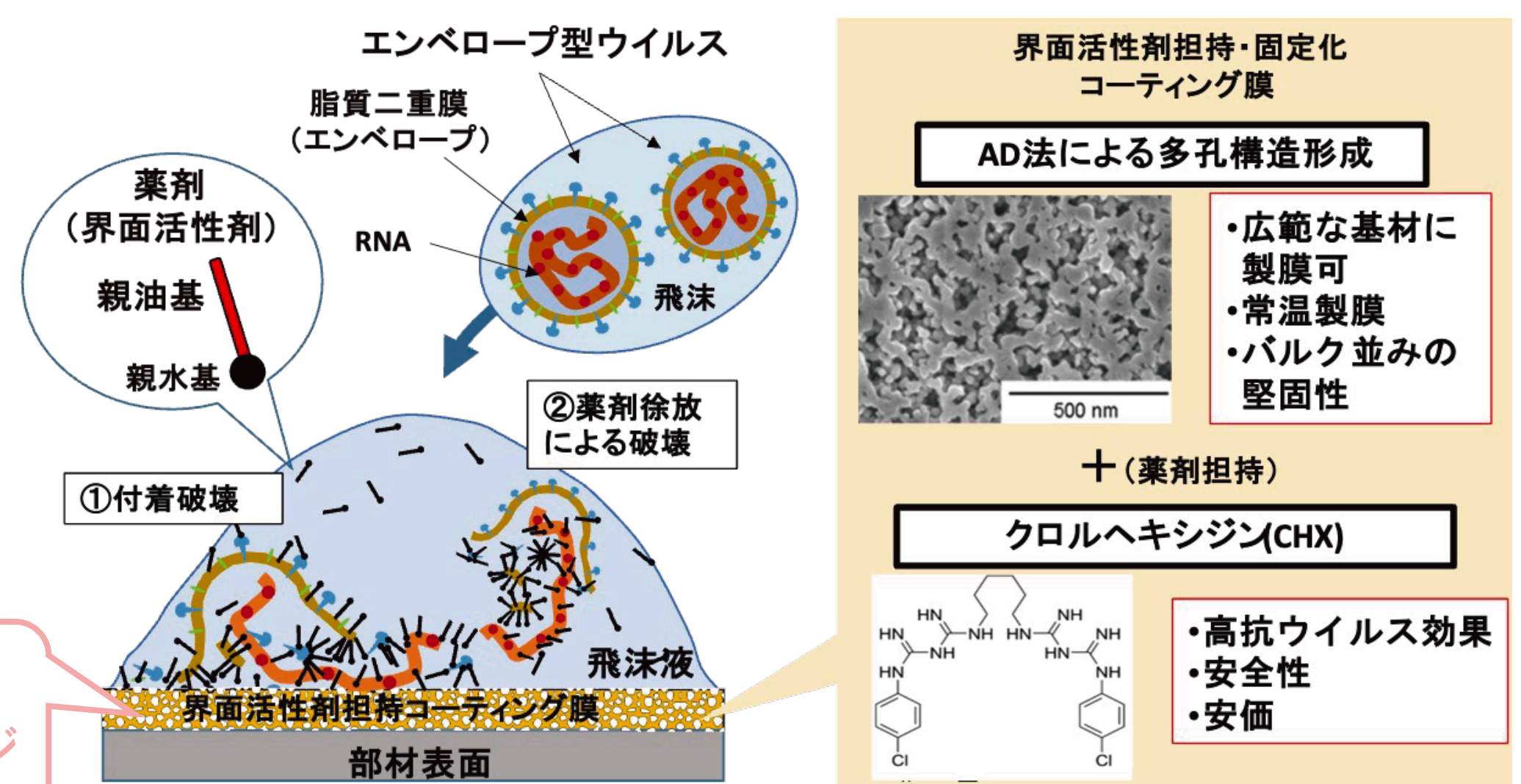


# ポーラスAD膜への薬剤担持による 抗ウイルスコーティング

- ▶ ポーラスセラミックAD膜への薬剤担持により洗ってもこすっても取れない抗ウイルスコーティングを開発
- ▶ 固体薬剤の即効性とセラミックの堅固性を両立

## 開発したクロルヘキシジン担持ポーラスセラミック膜

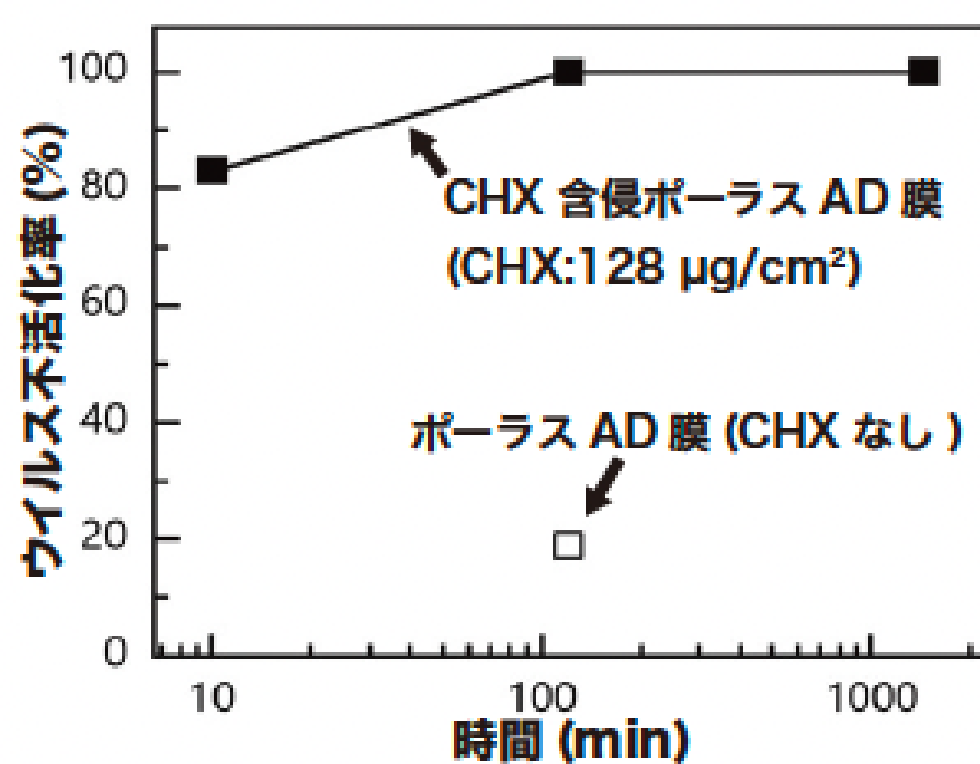
- 部材と強固な密着性を有するポーラスADセラミック膜へ人体にやさしい薬剤（クロルヘキシジン：CHX）を担持した抗ウイルスコーティングを開発
- ガラス・プラスチック・金属と様々な部材へ付加的に抗ウイルスコーティングを適用可能



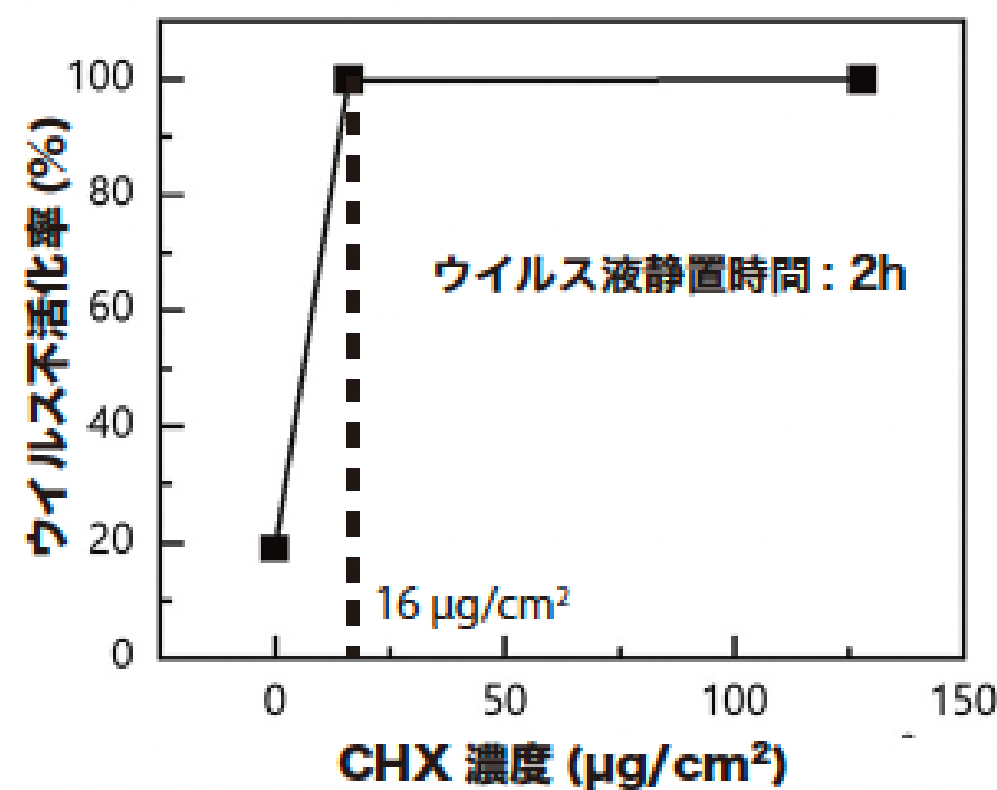
開発した抗ウイルスコーティング模式図

## エンペローブ型ウイルスに対しての即時不活化

1 ウイルス不活化にかかる時間評価



2 ウイルス不活化に必要な CHX 量評価

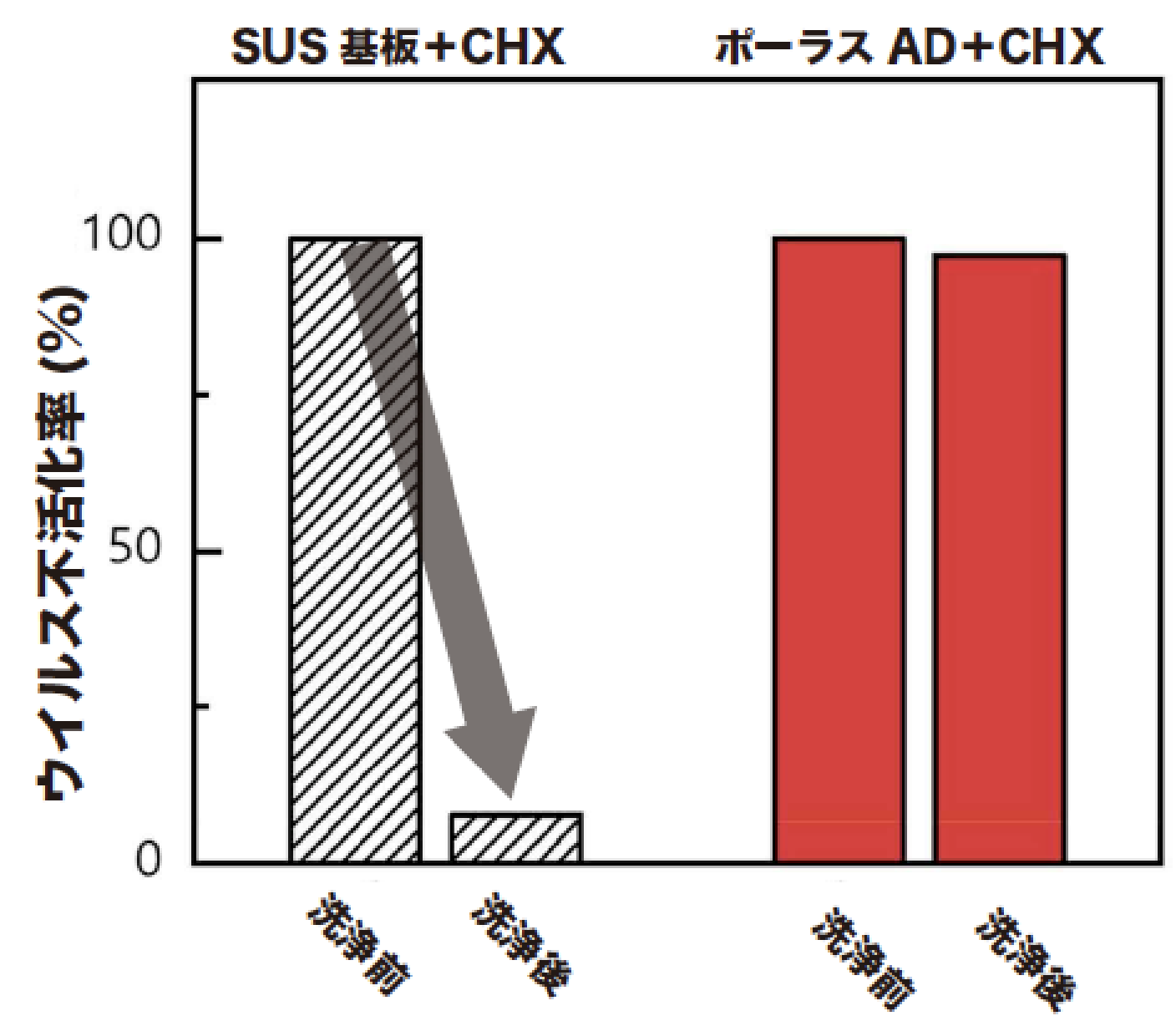


ウイルス不活化にかかる時間・必要な薬剤量評価

- インフルエンザ・コロナウイルスなどに代表されるエンペローブ型ウイルスへの不活化効果を示す
- 10分で80%以上のウイルスを不活化、2時間で99.99%以上のウイルスを不活化

## ポーラスAD膜による高持続性

- SUS基板（ADコートなし）が水洗浄により抗ウイルス性を喪失したのに対し、ポーラスADコートを用いたものは洗浄後も抗ウイルス性を示す
- また耐擦過試験においても60min擦過後も薬剤残存性を示す



耐洗浄試験評価